
はい、私が噂の変態土魔術師です。

BENI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

はい、私が噂の変態土魔術師です。

【Nコード】

N3644Y

【作者名】

BENI

【あらすじ】

異世界へ飛ばされた平凡な青年が魔法を手にいれ暴走する話です、思春期真っ盛りの変態が今動き出す。

始まりは突然に

ある日地球から異世界へ飛ばされた青年は、抑圧してきた色々なものから解放され自分のやりたいように生き抜いていく。
これはそんな青年のお話である。

（汝に神の祝福あれ…）

「ん…」

青年が瞼を開く。

「あ、あれ？ここは…？」

キョロキョロ辺りを見回すが一面草木が生い茂っており、森の中だ
ということが伺える。

「えつと…コドコ？」

「名前は誠慈、歳は18、福岡生まれの福岡育ち。」

自分自身で確認するように呟いてみるがどうやら記憶喪失とかではないようだ。

念のため頬をつねってみるがたしかに痛い、夢ではないようだ。

自室で寝てたのに朝になったかと起きてみれば知らない森の中、勿論俺の家は森の中にはないしそんな特殊な環境では生まれ育っていない。

平凡な家庭に生まれ育った平凡な青年それが俺だ。

もう一度辺りを見回してみるが森の中ということしか分からない、ふと自分の服装を確認してみても上下黒のスウェット。

いつもの寝間着である。

これからどうしようかと迷いポケットに手をつ込んだところで指先に何か触れる。

掴んで取り出したら紙が一枚入っていた、広げてみる。

退屈な世界に飽きた貴方を異世界に送ってみました、異世界ライフ存分に楽しんでみてください。特典は土魔法です。

ちよつと待つてほしい、異世界とか魔法とか色々突っ込み所が多いがもし、いやもし仮にあくまで仮定として本当なのだとしたら驚いていいことなんじゃないだろうか？

本とか好きでファンタジーな世界な話とか色々読んだりしてたがいざここが異世界ですとか言われても全く信じられない。

というかあの手紙の主は誰だよ、手紙をひっくり返したりしてみる

がどこにも名前のようなものは書かれていない。

たしかに異世界とか魔法のある世界で冒険なんてできたらカッコいいだろうなんて本を読みながら思ったこともあったけど、それはあくまでこんななんあったらいいなあというような空想の上での話だ。

まさか自分がそんなものに騙されるなんて

「アースニードル!!」

ズサズサツ

前に突き出した手のひらから円錐形の小ぶりなものが発射され近くにあった木に当たり、いくつも突き刺さる。

誠慈は右手を突き出したまま固まっていた。

（マジかよマジかよマジかよ！なんか手から出たよ！）

小走りにその突き刺さった木に近づいて確認するとたしかに円錐形のもものが刺さっている。

最初は石かと思ったが触つてみるとどうやら硬く固められた土のようだった。

ただこの硬さなら威力も石と大差ないだろう。

「マジか…」

実際確認すると少しショックでもあった。

「魔法が使えるってことは異世界っていうのも間違いないんだろな。」

「俺どうしょ...」

森の中で一人呟く誠慈だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3644y/>

はい、私が噂の変態土魔術師です。

2011年11月9日03時13分発行